

エポノックスマリンシーラー

エポキシ樹脂と変性脂肪族ポリアミンを結合材としたエポキシ樹脂系シーラー。コンクリートの多孔質性による塗料の吸収、発砲を防ぎ、付着性を確保します。エポキシ樹脂を使用しているため、コンクリート基材からの溶出物を抑える効果が優れています。

試験成績表（社内試験による）

容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする	合格
混合性	均等に混合すること	合格
塗装作業性	ハケ塗り及びエアスプレー塗りで塗装作業に支障ないこと	合格
乾燥時間 半硬化（h）	16 以内	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であること	合格
耐屈曲性	折り曲げに耐えるものとする	合格
ポットライフ（h）	5 以上	合格
付着性（基盤目テープ法）	100/100 剥離のないこと	合格
耐衝撃性	500g×500mmの衝撃によって割れ、剥がれができないこと	合格
耐アルカリ性	5%水酸化ナトリウム水溶液に 14 日間浸した時、異常ないこと	合格
耐熱サイクル性	冷熱（60℃×8 時間+ -20℃×16 時間）3 サイクル試験後、剥がれないこと	合格
エポキシ樹脂の定性	エポキシ樹脂を含むこと	合格

標準塗装仕様

塗装工程	塗料名	混合比	塗装回数	標準使用量 (kg/m ²)	乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	砂、ゴミ、浮いた塗膜などの付着物は高圧洗浄で入念に除去し、乾燥した清浄な面とする。							
下塗り	エポノックスマリンシーラー	4 : 1	1	0.10~0.12	16時間以上 7日以内	エポノックス シンナー	50~100	ハケ、ウールローラー
上塗り	アルクアフッソ	-	2	0.12~0.14	2時間以上	清 水	0~10	ハケ、ウールローラー

●上記の数字はすべて標準の数値です。施工方法、施工条件、下地状況により多少の幅を生じることがあります。

製品体系

塗料名	容量	色相	つや	塗り面積/缶当たり(16kg) / 1 工程
エポノックスマリンシーラー	16kgセット（主剤12.8kg 硬化剤3.2kg）	グレー	つや有り	133~160m ²



概 要

主用途	建築物内外装
適用下地	コンクリート、モルタル、スレート板など
主要組成	エポキシ系
荷姿	16kg（主剤12.8kg、硬化剤3.2kg）
色	グレー
仕上がり	つや有り
塗装器具	はけ、ウールローラー
希釈剤（希釈率）	エポノックスシンナー（はけ、ローラー50～100%）
間隔時間（23℃）	工程内16時間以上、最終養生15日以内
ホルムアルデヒド放散等級	該当せず
JIS規格	該当せず
防火認定	該当せず
消防法表示	主剤 第4類第2石油類 硬化剤 第4類第1石油類
適合上塗材	アルクアグロス、アルクアフッソ、アルクアシリコン エポノックスマリン、アクリテックス#52
ポットライフ	10時間（20℃）

施工上の注意事項

①塗装時 0℃以下、塗装後 0℃以下の気温が連続することが予想される場合、または塗装時の湿度85%以上の場合は施工しないでください。

②水・アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。

③過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。

④硬化剤は湿気に変質しやすいので密栓して貯蔵してください。

⑤専用シンナー以外での希釈は絶対に避けてください。

⑥絶えず結露が発生するような場所での使用は避けてください。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。

⑦塗装後、乾燥不十分な状態で降雨、結露などがある場合や、低温、高湿度の場合には、膨れ、剥離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。

⑧溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者への配慮をお願い致します。

⑨屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。

⑩塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。

⑪飛散防止のため必ず養生を行ってください。

⑫ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。

⑬汚れ、キズなどにより補修塗りが必要な場合は、塗料ロット、希釈率、補修方法などの塗装条件を同一にしてください。

⑭塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。

⑮開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。

⑯塗料漏洩の原因になりますので、保管、運搬時に容器を横倒しにしないでください。

■製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。